

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 3月 29日

仕事の内容	高齢者理・美容券交付事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書(ページ)	51	

予算名	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業	4	高齢者日常生活支援事業
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	---	-------------

この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	① 65歳以上の高齢者で、常時ねたきりの状態又はこれに準ずる状態にあるため介護を必要とするものであって、その状態が6か月以上継続し、なお継続すると認められるもの。 ② 入院又は入所等をしていないもの。	→ 市内65歳以上の高齢者数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	② 高齢者の保健衛生を向上させ、生活の安定を図る。	→ 交付者数
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
③ 市内在住の65歳以上の高齢者で、常時ねたきりの状態又はこれに準ずる状態にあるものに、理・美容券を交付し、対象高齢者が在宅で理・美容サービスを受けることができるようにした。 交付の流れについては、まず担当区域の高齢者ほっと支援センターの職員が自宅訪問し、身体状況を確認。同センターによる申請代行を受けて、市が交付決定する。対象者には年4枚の理・美容券を交付した。	→ 交付者数	

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
指標の推移	対象指標	①の数値	人	21,957	22,350	22,711	
	成果指標	②の数値	人	19	16	12	
	目 標	②の目標値			16	12	12
	目標値設定の考え方		高齢者世帯への日常(在宅)生活の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。				
活動指標	③の数値	人	19	16	12		

3 経費	事業費(実績)		円	178,600	110,200	112,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	178,600	110,200	112,000	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	825,300	824,400		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	1,005,300	935,500	936,400		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和57年10月に事業開始。理・美容券の交付を行うことで、高齢者の保健衛生を向上させ、かつ、生活安定を助長させるのが目的である。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	開始当初は、在宅ねたきり高齢者を対象にしていたが、平成3年4月から、新たに70歳以上のひとり暮らし高齢者で一定の所得内のものも対象とした。平成13年4月から緊急財政対策プランに基づき、対象者を以前のねたきり又はこれに準ずる高齢者に変更している。

仕 事 の 内 容	高齢者理・美容券交付事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	特になし					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	特になし					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	現状維持が妥当					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	特になし					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。	